

〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

7月報

インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ 報告数は2件（前月比0.1、前年同月比0.1）でした。本年の2月をピークに連続して減少しています。例年の季節性インフルエンザ発生状況と同様に、ほぼ収束しているものと推測されます。

小児科定点

（全体傾向）

報告数は3,279件（前月比0.89、前年同月比0.6）と前月および前年に比し減少傾向です。ヘルパンギーナ（前月比1.6）が増加傾向にありますが、感染性胃腸炎（前月比0.8）A群溶連菌咽頭炎（前月比0.6）、手足口病（前月比0.7）の減少が大きな減少理由です。感染性胃腸炎は例年と変わらない減少傾向ですが、手足口病は前年同月比0.1と昨年のようなピークは見られていません。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症 : 報告数は48件（前月比1.8、前年同月比2.8）と増加傾向です。この数年、8月頃より増加傾向にありますので今後の注意が必要です。
2. 咽頭結膜熱 : 報告数は55件（前月比0.7、前年同月比0.9）で、例年と同様の傾向です。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 報告数は299件（前月比0.6、前年同月比1.1）で、例年同様、減少傾向にあります。熊本（9.5）宇城（9.0）からの報告が多いです。
4. 感染性胃腸炎 : 報告数は1,215件（前月比0.8、前年同月比0.8）で、本年1月をピークに減少傾向にあります。菊池（57.0）有明（40.0）八代（33.0）からの報告が多いです。1才にピークがあります。
5. 水痘 : 報告数は45件（前月比0.9、前年同月比0.5）で、本年に入りほぼ横ばいですが、昨年より少ない傾向にあります。2～3才にピークがあります。2014年10月に予防接種が定期的になり、以降全国的にも患者が減少しています。
6. 手足口病 : 報告数は122件（前月比0.7、前年同月比0.1）で、1年おきに流行を繰り返しており、昨年の流行期と比べかなり少なく推移しています。
7. 伝染性紅斑 : 報告数は52件（前月比0.6、前年同月比0.4）で、本年1月をピークに減少を続けています。
8. 突発性発疹 : 報告数は148件（前月比0.6、前年同月比0.7）でした。今年は6月をピークに増加していましたが、7月は減少に転じました。例年やや夏に多い傾向があります。
9. 百日咳 : 報告数は1件（前月比-、前年同月比0.5）で、菊池からの報告です。
10. ヘルパンギーナ : 報告数は674件（前月比1.6、前年同月比0.9）で、昨年とほぼ同様にピークを迎えています。菊池（26.5）天草（25.3）からの報告が多いです。1才にピークがあります。
11. 流行性耳下腺炎 : 報告数は393件（前月比1.1、前年同月比2.3）で、昨年、一昨年と比較し多くなっています。全国的に4-5年ごとに大きな流行を繰り返しています。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告数は1件(前月比1.0、前年同月比なし) 20～29歳代に1件、熊本市からの報告です。
2. 流行性角結膜炎： 報告数は33件(前月比0.6、前年同月0.2)と減少しています。低めながら30～49歳代にピークが見られますが、若年層での発症は更に低くなっています。

STD定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が13医療機関から16医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症：
報告数は53件(前月比1.1、前年比1.0)で、前月比は増加し、前年比は同数でした。男女別は、男性24件、女性29件で、女性に多く見られます。年齢別は、男性は15～59歳に見られ、女性は15～39歳に見られます。地域別は、熊本が41件、次いで御船、八代各4件、有明2件、菊池、宇城各1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症：
報告数は23件(前月比1.4、前年比1.0)で、前月比は増加し、前年比は同数でした。男女別は、男性11件、女性12件で、男女別ではほぼ同数でした。年齢別は、男性は25～70歳以上に見られ、女性は20～70歳以上に見られ、男女ともに広い年齢に見られます。地域別は、熊本16件、次いで菊池3件、八代2件、有明、宇城各1件でした。
3. 尖圭コンジローマ：
報告数は6件(前月比0.6、前年比0.6)で、前月比、前年比ともに減少しています。男女別は、男性5件、女性1件で、年齢別は20～64歳、女性は15～19歳でした。地域別は、熊本4件、有明、宇城各1件でした。
4. 淋菌感染症：
報告数は22件(前月比2.4、前年比1.4)で、前月比、前年比ともに増加しています。男女別は、男性18件、女性4件でした。年齢別は、男性は15～59歳に見られ、女性は20～39歳に見られます。地域別は、熊本が16件、次いで御船3件、八代、有明、宇城1件でした。

基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：
21件(前月比1.4、前年比1.1)の報告がありました。熊本9件、阿蘇2件、八代1件、水俣1件、人吉5件、有明3件でした。年齢は1～4歳：1件、20～24歳：1件、35～39歳：1件、45～49歳：1件、50～54歳：2件、65～69歳：1件、70歳以上：14件でした。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：
3件(前月比0.6、前年比0.4)の報告がありました。熊本2件、人吉1件でした。年齢は70歳以上：3件でした。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：
報告ありませんでした。(前月比 -、前年比 -)

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎：
1件(前月比1.0、前年比 -)の報告がありました。熊本で、年齢は0歳：1件でした。

2. 無菌性髄膜炎： 12件（前月比2.0、前年比1.2）の報告がありました。熊本12件でした。年齢は0歳：1件、1～4歳：1件、5～9歳：2件、10～14歳：4件、25～29歳：1件、30～34歳：2件、40～44歳：1件でした。
3. マイコプラズマ肺炎： 47件（前月比1.9、前年比2.1）の報告がありました。熊本22件、阿蘇1件、八代1件、水俣19件、人吉2件、有明2件でした。年齢は1～4歳：17件、5～9歳：18件、10～14歳：9件、15～19歳：1件、20～24歳：1件、70歳以上：1件でした。
4. クラミジア肺炎： 報告ありませんでした。（前月比－、前年比－）
5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）： 3件（前月比1.5、前年比－）の報告がありました。熊本2件、人吉1件でした。年齢は0歳：1件、1～4歳：2件でした。

届け出対象感染症

1類感染症	： 報告はありませんでした。	
2類感染症	： 結核	： 25件
3類感染症	： 腸管出血性大腸菌感染症	： 10件
4類感染症	： 日本紅斑熱	： 3件
	レジオネラ症	： 4件
5類感染症	： カルバペネム耐性腸内細菌感染症	： 1件
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	： 1件
	後天性免疫不全症候群	： 2件
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	： 1件
	侵襲性肺炎球菌感染症	： 1件
	梅毒	： 2件